

提案名	ミサウィンターナショナル「HABITA 長期優良住宅先導的モデル」	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	ミサウィンターナショナル株式会社	種別	システム提案
構造	木造（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

ミサウィンターナショナルは、日本と海外の数百年の歴史を持つ古民家に学び、伝統的木造工法を現代の工業化技術で継承したいと考え、地域活性化の推進役である地域工務店と共に取り組んでいる。

古くて正しいことを新しい方法で現代に適用し、200年残すべき価値のある美しいデザイン、家族の絆や思い出が残る何世代にもわたって引き継がれてゆく住まいづくりを目指している。

本提案住宅は、内部は軸組現しの真壁である。外部は【外部真壁タイプ】と【外部大壁タイプ】のいずれかを、立地条件等により選択することとしている。

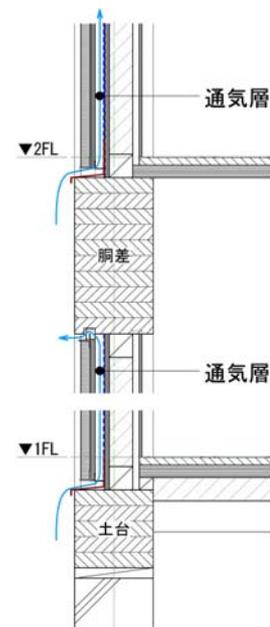
■提案内容

① 5寸柱と外部真壁通気工法による高耐久真壁構造

- ・数百年の歴史を持つ古民家は大半が木の現し。
- ・外部真壁構造は、木が蒸れず劣化事象を目視可能。これに加え、外壁を通気構造とすることで、さらに耐久性を向上。(外部真壁通気工法)
- ・木の持つ調湿作用、香り、肌触り、温もり、愛着を大切にしたい、壊すには忍びない住まい。

② 民家的な間面の設計手法による可変性のあるスケルトン・インフィル住宅

- ・5寸角の柱と5寸×1尺の梁により最大2.5間×2間のメインフレームを構成し、それらの組合せによる安定した構造体を実現。
- ・シンプルな骨組により、世代を超えた住み替えと100年後の再生が可能。
- ・けんめん間面コア・そうかん層間コアによる可変性の高いプランニングシステム。



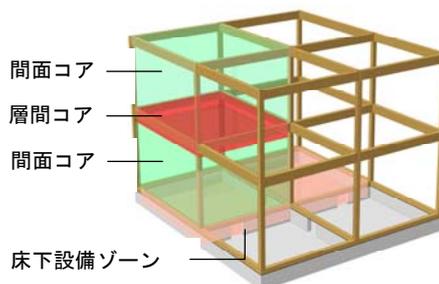
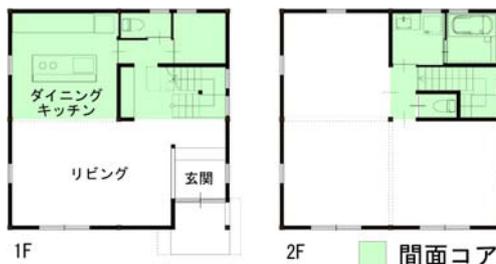
外部真壁通気工法

●間面コア

階段・水廻り等の固定的な空間を、大梁で囲まれた特定の区画（間面コア）に集約することで、残りの区画の空間可変性を確保

●層間コア

間面コアの1階天井は低く抑え、2階床との間に設備ゾーン（層間コア）を確保することで、2階設備の維持管理容易性を向上



③ 大きな断面の国産集成材を活用した環境配型の工業化住宅

- ・3.5寸角に比べ約2倍の断面積を有する5寸角の柱、5寸×1尺の梁。
- ・含水率15%以下のプレカット集成材（エンジニアリングウッド）により品質・性能が安定した工業化住宅。
- ・構造材に国産材を活用し、国内の森林経営の安定化・活性化に寄与。
- ・国産材の需要拡大により森林を計画再生し、環境保全とCO₂削減に寄与。



国産集成材の活用

④ デザイン評価委員会により200年残すべき価値のあるデザインを評価するデザイン評価システム

- ・200年残すべき価値のある快適な空間や質の高いデザイン基準を学識経験者、専門家等による「HABITA 長期優良住宅デザイン評価委員会」により策定。
- ・評価委員会では、空間の豊かさ、構造体の美しさ、間取りの可変性、外観の美しさ、環境・街並みとの調和の5分野20項目について評価を行い、質の高いデザインを誘導し、「デザイン評価書」を発行。
- ・街並みに寄与し、200年残すべき価値のある美しい外観デザイン。



大きな断面の木組

【外部真壁タイプ】：急勾配の屋根と深い軒先。左官工事と現しの柱梁による内外真壁構造。

【外部大壁タイプ】：矩形の平面構成と落ち着いた左官壁。外部大壁、内部は柱梁現しの真壁構造。



外壁真壁の外観

⑤ 200年にわたる保証・保全体制

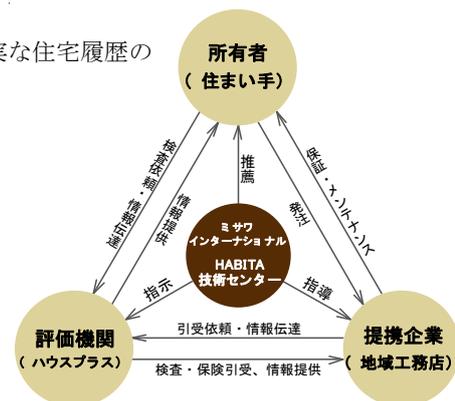
- ・100年を超える維持保全スケジュールを計画し、ミサワインターナショナル・所有者・提携企業（地域工務店）・性能評価機関（ハウスプラス等）の4者の協力体制により実現化を推進。
- ・所有者・提携企業・ミサワインターナショナルの3者契約による「HABITA 保証・保全制度」の仕組みを構築。（完成保証、瑕疵保証、性能評価、地盤保証、履歴管理、入居調査、定期点検、維持管理、既存評価、履歴活用等）
- ・ミサワインターナショナルに「HABITA 技術センター」を設置し、提携企業（地域工務店）を支援。
- ・性能評価機関による電子データ保管サービスの活用による、確実な住宅履歴の保存・運用システム。



木組み現しの内観

■提案者からのコメント

- ・昨年度第1回超長期住宅先導的モデル事業に採択された住宅の建設を行ってきた中で、長期にわたって長続きする建物をつくるためにはどうしたらよいか、という提携企業（地域工務店）の意識が高まってきたと感じる。施主は提携企業のその意識の高さに惹きつけられて注文したのではないかと。
- ・今年度の「HABITA 長期優良住宅先導的モデル」にあたって、提携企業に対してはもちろん、施主に対しても先導的モデルの先進性や必要性を訴え、真の理解を深めてゆきたい。



維持保全の主体と相互関係